

令和 8 年 6 月 3 0 日
文教・福祉常任委員会資料
健康長寿部長寿生きがい課

令和 7 年度宇治市小倉デイホームの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第 1 1 条に基づき、別紙
のとおり報告いたします。

令和 7 年度 事業報告書

令和 8 年 4 月 2 2 日

施設名	宇治市小倉デイホーム
団体名	社会福祉法人 宇治明星園
代表者名	理事長 中島 研
指定管理期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日（5 年間）

（１）業務実施状況報告（令和 7 年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】 ・「地域に開かれた、地域に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」（宇治明星園設立理念）を宇治市小倉デイホームの運営方針とします。 ・地域住民の方が幅広く利用することができる環境づくりに取り組みます。また、子ども茶道教室、地域住民による健康麻雀クラブ、囲碁クラブ、認知症の方と家族のつどいの場、地域貢献事業（委託事業含む）のフレイル予防教室（小倉げんき塾、脳トレ教室たんぼぼ、小倉うたごえサロン）、趣味クラブ活動（健康麻雀クラブ、絵手紙）、そして小倉小学校や小倉双葉園保育所の児童や園児との世代を越えた交流は継続して行い、健康増進に資する活動及び生きがいづくりを支援します。 —結果— 令和 7 年度の 1 年間でデイルーム 3,032 人（4.8%増）、家族介護者教室 3,612 人（4.0%増）、ボランティアルーム 1,375 人（25.5%減）の利用（延べ人数）があった。感染症対策は緩和となっているが、対策をとりつつ小倉小学校青少年健全育成協議会活動の子ども茶道教室、地域貢献事業（委託事業含む）の介護予防教室（小倉うたごえサロン、小倉げんき塾、脳トレ教室たんぼぼ）を継続実施、またクラブ活動（健康麻雀クラブ、絵手紙教室）の活動を支援するなど、地域住民の健康増進の向上に繋げた。
【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】 宇治市在住の 60 歳以上の方であればどなたでも平等に利用していただき、地域に開かれた施設として運営した。また、それ以外の介護者教室、ボランティアルームなども年齢に関わらず、地域のサークル活動やサロン、民生・児童委員協議会、学区福祉委員会、小倉小学校や小倉双葉

園保育所などにも幅広く開放した。その他、障害者福祉施設の利用者の就労の場（地域交流の場）としても活用した。

—実施した対策—

高齢者福祉施設として、宇治市広報の掲示や地域のお知らせを配布するなど情報発信を行い、また地域のイベントや施設主催の行事（介護予防教室・クラブ活動や、小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会の開催、デイホーム委員会主催）なども地域や関係団体に幅広く広報して利用しやすい環境づくりに努めた。

【利用拡大の取組結果について】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催した。介護予防教室の利用延べ人数は下記の通りとなった。

令和 6 年度及び令和 7 年度の介護予防教室参加者数

（単位：人）

	令和 6 年度	令和 7 年度
小倉げんき塾	693	699
脳トレ教室 たんぽぽ	294	313
小倉うたごえ サロン	387	375

クラブ活動（絵手紙教室）を開催し、延べ 35 人にご参加いただいた。クラブ数の減少に伴い参加者数が減少したものの、引き続き、地域の活動支援に取り組む。

また、地域の「高齢者サロン」「認知症の方と家族のつどいの場」「健康麻雀サロン」も継続して開催し、利用拡大に向けて取り組んだ。

【利用料金収入の結果について】

該当なし

【自主事業に関する取組結果について】

該当なし

【情報発信の取組結果について】

各自治体、教育機関、福祉施設からの見学を随時受付、日本初の小学校の高齢者福祉施設の転用例を発信した。また、社会福祉法人宇治明星園の広報活動ともリンクし、宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターと連携しな

がら、地域の福祉拠点並びに福祉相談窓口としての情報発信も行った。

その他、小倉小学校、小倉双葉園保育所だけでなく施設の機関紙やパンフレット（イベントや行事企画等）を地域や関係団体に配布して広報を行った。

【管理運営体制等について】

センター長 1名（北宇治地域包括支援センター センター長兼任）

受付及び管理職員 15名（宇治市小倉デイサービスセンター職員兼任、宇治市小倉介護サービスセンター介護支援専門員兼任、北宇治地域包括支援センター職員兼任）

事務職員 1名（宇治市小倉デイサービスセンター事務職員兼任）

清掃・営繕 2名（宇治市小倉デイサービスセンター運転手兼任）

その他、すべての小倉明星園スタッフでデイホーム利用者への対応を行った。

【地域との連携、市民参画の結果について】

健康麻雀クラブ（月・水午後・第2、4火午後）伊勢田元気会（第1水午前）、スリッパの会（第1、3、4土）、健笑会（第2、4金午後）、囲碁クラブ（毎日）、小倉青少年健全育成協議会茶道教室（第2、4土午前）、青淡会高齢者茶道クラブ（第1、3土・第4土午後）、りあん（第1、3火午後）、介護予防教室（小倉うたごえサロン（第3木）、小倉げんき塾（第2木）、脳トレ教室たんぽぽ（第4木））、クラブ活動（絵手紙教室（第4火））などに施設を開放。

その他、地域のボランティア団体や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会にも地域交流の場として施設を開放した。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

—対策状況—

トラブル対応として、デイホーム委員会が中心となりデイホーム利用者による館内の利用時間の遵守及びマナーについて検討を図り、館内ルールを遵守していただくよう声掛け（説明）や館内掲示を行った。

防犯については、業者委託による機械警備（夜間）と職員による館内防犯点検（目視による巡視）を行った。また、小倉小学校の敷地内であることから日中はスクールサポーター（配置時）が常時見守りを実施している。

防災対策については、年3回（うち1回は小学校との合同訓練）館内利用者・職員を含めた避難訓練を実施して防災意識を高めた。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

—把握状況及び実施策—

日常的に宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターの職員が利用者の要望等の対応にあたりるとともに、デイホーム委員会が中心に実態の把握を行った。また、これまでと同様に個別の相談（介護に関する悩み、利用者同士のトラブル）にも適切に対応した。その他、毎年年度末に実施しているアンケートを実施して、要望の把握に努めた。（QRコードを使用してネットで答える方式を採用）

【サービス向上取組内容について】

情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、延べ1,387名の参加があった。また、クラブ活動（健康麻雀・絵手紙教室）を開催し、地域住民のニーズに応えるべく取組んだ。

年末には全館大掃除のデイホーム利用者にも呼び掛けを行い、今年も職員と一緒に掃除を行った。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

エアコンを使用する際は、適切な温度設定で過ごしていただくようお知らせの掲示や声掛けを行った。また、利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

令和6年度及び令和7年度の経費（光熱水費）実績

（単位：千円、％）

	令和6年度	令和7年度	前年度比
電気	271	280	103.3
ガス	917	862	94.0
水道	863	804	93.2
合計	2,051	1,946	94.9

【個人情報保護措置と実施状況について】

当法人が定める「指定管理者個人情報保護規程」に基づき、個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じた。

令和7年度において個人情報の開示請求はなかった。

【情報公開対応と実施状況について】

当法人の定める「指定管理者情報公開規程」に基づき、適切な措置を講じる。
令和 7 年度においての情報公開実施事例はなかった。

【その他】

- ・感染症対策として、マスクの着用については、重症化リスクの高い人等に感染させない配慮は継続しながら、個人の判断に委ねることを基本とした。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されることを踏まえ、執務室や会議室等において、職員や市民に対しマスクの着用を求めている。
- ・併設の宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターにおける介護・福祉関係及び施設管理に関する研修に参加した。
- ・社会福祉法人宇治明星園の人権研修会、京都府やハローワークの人権啓発研修、感染症研修など外部研修に参加して職員の管理能力を高めた。その他、避難訓練については、年 3 回（うち 1 回は小学校との合同訓練）実施した。
- ・令和 7 年 12 月 17 日に文教・福祉常任委員会の視察が行われ、施設内の案内、活動報告、質疑応答に対応した。

(2) 施設利用状況報告（令和7年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数

令和6年度及び令和7年度の入館者数

（単位：人、％）

区分	令和6年度	令和7年度	前年度比
デイルーム	2,894	3,032	104.8
浴室	0	0	--
介護者教室	3,472	3,612	104.0
ボランティア ルーム	1,846	1,375	74.5
合計	8,212	8,019	97.6

※浴室の一般開放は休止

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和6年度及び令和7年度の貸館状況

（単位：件・人、％）

区分	件数 人数	令和6年度	令和7年度	前年度比
介護者教室	件数	218	222	101.8
	人数	3,472	3,612	104.0
ボランティア ルーム	件数	242	191	78.9
	人数	1,846	1,375	74.5
合計	件数	460	413	89.8
	人数	5,318	4,987	93.8

(3) 管理経費収支報告(令和7年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市小倉デイホーム			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	4,872	4,799		
	利用料金収入	0	0		
	その他	0	0		
収入合計(A)		4,872	4,799		
支出	人件費	2,029	2,165		
	事務費	63	130	消耗品費 130	
	管理費	2,780	2,504	光熱水費 1,946 委託料 421 修繕費 137	
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		4,872	4,799		
収支(A)-(B)		0	0		

(4) - 1 事業実施状況報告 (令和7年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和7年度)

团体名

社会福祉法人 宇治明星園

(単位：千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 一人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出 (B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝礼	材料費 等	その他
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
計	予定額	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入する事